

躍動! 日本のトップスイマーたち

日の丸を背負って戦った5人のアスリートたちにレース後、お話を伺いました。



日本の競泳会を牽引する
背泳ぎのスペシャリスト

入江 陵介選手

パースは今回で3回目ですがパースの印象を。

—— 2012 年、14 年、そして今年とほぼ毎年来させてもらい、新年はここでスタートしている感じなので、縁のある地だと思っています。今年も、良いスタートが切れたと思います。

自由時間や外出、観光とかはされましたか？

—— 残念ながら、全然していませんね…。毎回、ホテルとプールの往復だけです (笑)。いつかしたいですね。

2015 年の目標をお聞かせ下さい。

7 月に行なわれるロシアの世界水泳選手権で、しっかり金メダルを 2 つ取ることです。



渡部 香生子選手

去年はアジア大会、パンパシフィック、世界短水路の 200m 平泳ぎで 3 冠でしたが。

—— 昨年は収穫もたくさんあった良い年でした。ただ、全てリセットして、今年は新しい気持ちで頑張ろうと思っています。

フィジカル面において外国の選手と比べられることについて、世界で戦っていく上でその辺はいかがお考えですか？

—— 平泳ぎに関しては、技術の方が大切になってくると考えているので、そういったことはあまり気にしないでいきたいと思っています。

2 月末からシドニーでの大会に参加されますが、抱負をお聞かせ下さい。
たくさんレースに出て、4 月の日本選手権の調整にしたいと思っています。



日本女子代表の若き旗手
そして名実ともにエース



日本平泳ぎの新エース
短水路日本新記録保持者

小関 也朱篤選手

泳ぎ終えた(100m 平泳ぎ)今の感想を。(他記者)

—— 2 位だったというのが悔しいです。タイムも狙っていましたが、キックとプルのタイミングが合っていないのが原因かと思います。4 月の日本選手権と 7 月の世界選手権に向けて修正していきたいです。

小関選手は、2013 年の大学生の時に日の丸を付けられましたが、パースで水泳選手になりたいと思っている子どもたちにメッセージを。

—— 確かに自分が、日本代表のチームに入ったのは遅かったですね。辛い練習もありましたが、乗り越えて今があると思っています。なので、練習がきつい時もあると思いますが、それを乗り越え、頑張ってください。

